

# 防府市でレザーファン生産者になりませんか

縁の下の力持ち



JA山口県防府大道レザーファン部会（18名、約4ha）は防府市台道地域でレザーファン栽培をしており、**生産量 全国第三位！！**  
「**防府グリーン**」の名称で全国各地に出荷されています。



～レザーファンとは～

- ★シダ植物の一種でフラワーアレンジメントの土台や背景として活躍！
- ★栽培管理が比較的簡単で初心者でも始めやすい！
- ★葉が軽いので体への負担が少ない！

<こんな方にオススメです！！>

- 農業に興味があるけど、高額な初期投資を避けたい人
- 単純作業の繰り返しを、自分で工夫しながら続けることが得意な人
- 自分で時間を調整して働きたい人

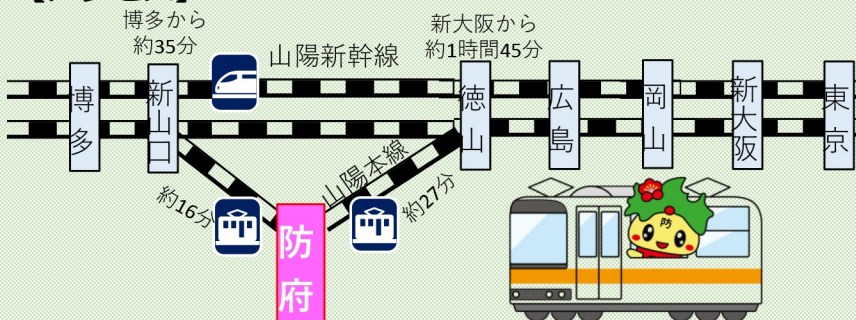
## 防府市ってどんなところ？

- 防府市は、山口県の瀬戸内海側の中央に位置し、気候が温暖で佐波川流域に県下最大の平野を有しています。
- 中心部には防府市公設青果物地方卸売市場市場があり、直売所も数多くあるため、生産地と消費地との距離が近いという立地条件を活かして多様な農業が営まれています。
- 農業技術取得のための研修期間である山口県立農業大学校があり、卒業生が多く活躍しています。



人口 約12万人 面積 189.37km<sup>2</sup>

### 【アクセス】



## 先輩農家の声

山本 剛さん 平成29年就農



【就農のきっかけ】

子供が大きくなり手がかからなくなったタイミングで当時の仕事を退職し夫婦2人で思い切って農業にチャレンジしました。

【レザーファンの魅力は？】

出荷物が軽く管理も比較的簡単のため、年齢を重ねても始めやすく、これからも長く栽培が続けられると思っています。

【新規就農者へひとこと】

農業については分からないことがたくさん出てくると思います。先輩たちに話をよく聞き、体験し、よく学びましょう。

大道レザーファン部会ではハウスが団地状に集まっていますので、作業していてもわからないことは近くの先輩にすぐに尋ねることができます。

就農してすぐに収益が出るわけではありません。ある程度 of 生活資金を確保しておくことが必要です。

## 就農までの流れ（例）

- ① 農作業体験（半日から最長6ヶ月まで）
- ② 部会員と顔合わせ
- ③ 就農計画の作成
- ④ 研修、就農開始



フラワーアレンジメント  
（防府レザーファン使用）

○就農後も部会内で出荷目合わせ会や圃場巡回などを行い、技術支援を行います。

※上記は一例ですので、具体的なスケジュールは、状況に応じて個別に設定します。

問合せ 防府市農林水産振興課農政係  
防府とくち西部営農センター  
山口県山口農林水産事務所農業部

TEL：0835-25-2358  
TEL：0835-32-0126  
TEL：083-922-5249



## レザーファン栽培の流れと特徴



月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
(1年目)	定植									収穫・調製		
(2年目 ～)	収穫・調製				収穫・調製 (農繁期)			収穫・調製				

### <栽培のポイント>

- 定植は10年に1回、定植してから10か月程度で収穫開始
- 日々管理は古葉とり、除草と灌水、年間通して収穫ができる
- 農薬散布回数は年に2～3回でOK
- 1人の年間作業時間(20aの場合)は 1660時間(週32時間)

### 収穫



収穫に合わせて、次の芽がでるよう古葉も取り除いていきます。

### 調製



規格にあったサイズ、形を厳しく選別し、10本一束にします。

### 調製



下に敷いたセロファンと古新聞で輸送中に動かないようにします。

### 出荷



「防府グリーン」の名称で全国各地の市場へ出荷されます。

栽培工程を動画で公開しております！！



## 経営事例

### 経営モデル①(専業)

経営規模：40a  
労働力：夫婦2名



出荷量	12万本
販売単価	50円
販売収入	600万円
所得	291万円

### 経営モデル②(兼業)

経営規模：20a  
労働力：1名



出荷量	6万本
販売単価	50円
販売収入	300万円
所得	116万円

機械・施設	用途
作業用管理機	定植前の畝立て
○パイプハウス	栽培用ハウス
○灌水設備一式	日々の管理
軽トラック	出荷物、資材等運搬
○トラクター	定植前の耕耘作業

### <ポイント>

- ☞「○」は農協でレンタル可能です！
- ☞栽培ハウスのリースが可能のため、初期投資が抑えられます！

## 生産部会イベント



### 出荷目合わせ会

整品の品質を部会員で統一するため、実物を見ながら確認します。



### 定期巡回

年4回のハウス巡回を行い、季節ごとの管理ポイントを共有します。



### 視察研修

生産技術の向上と、消費者ニーズの把握のため、県外産地や市場を訪問します。